



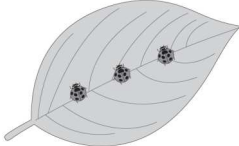
2歳児クラス 4月 第2回 「かわいいてんとうむし」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> てんとう虫の数が1匹ずつ減っていく様子を楽しみながら進行。 やわらかく温かみのある色彩を楽しみながら読み進める。 数の変化に気がつき、次を想像しながらストーリーを楽しむ。 登場する虫の名前や会話を広げながら読み進める。 	教材	
	<p>★絵本 ※仕掛け絵本の為映像はありません 葉っぱの台紙</p>	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 表紙のてんとう虫を葉っぱの台紙で隠して「かわいいお友だちを連れてきたよ。誰が隠れてる？」と一匹見せる。 「何匹隠れてるかな？数えてみるよ」と一緒に数えながら登場させる 		

がくしゅうタイム

活動①	数	1対1対応で指さし、数を数えようとする	
設問	てんとうむしは何匹いるかな？指をさしながら数えてみましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保「かくれんぼ♪」と葉っぱ台紙をプリントに重ね、てんとう虫を隠して登場。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「葉っぱの後ろに隠れてるみたい。今度は何匹隠れてるかな？数えながら見せる「全部で3匹」確認。 講：「みんなの所に葉っぱが落ちてきた。てんとう虫さんいるかな？」 保：プリントをひらひらさせながら一人ずつ裏返しにして配布 講：「一緒に数えてみよう。一本指出して！」人差し指で左側からゆっくり数える。 ※数えにくい場合は、てんとう虫の並びが水平になるようにプリントを傾ける 講：てんとう虫に耳を近づけ「今日はまだ仲間が隠れているよ。仲間をさがしてね！だって。楽しみだねー」と活動②へと進める。 講師が会話している間に子どものプリントを保育士回収する。 <p>※状況によっては、おはじき3個入ったお皿を人数分準備し、1対1対応で乗せる活動を追加するのも良い。「お腹空いたから一人に一つおやつをあげましょう」</p>		P1 葉っぱの台紙
			保育士の役割
活動②	比較	てんとう虫の大きさを比較し、それぞれの大きさに合うシールを貼ろうとする	
設問	大小のてんとうむしの背中に模様をつけてあげましょう		※実物参照
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講「てんとう虫さんどこに隠れているのかな」と机の下など探索行動。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「いた！」ポケットを覗きながら大きいてんとう虫が登場「まだいたよ」と小さいてんとう虫はてのひらに隠し、大きさの違いを強調 大きさの比較。数えたり、「お母さんと子どもかな？」と背中に乗せたりして楽しいやり取り。 保：子どもに「大きいのどっち？」と大小比較して、子どもが大きいてんとう虫を取るようになる 講：「どこが違う？」背中にシールの模様が無いことに気付けるようにする 大小のシールを提示。「くらべっこ。ピタンコどーれ？」(間違え行動も良い) 貼る位置も意識し「ピタンコ」と貼るところまで見本行動 <p>子ども達にシールを配布し、大小のシールを確認。 大小逆の間違え行動で楽しんだり、目に貼る子がいても貼り直しはせず見守る</p>		てんとうむし(大・小) シール大・一人6枚 シール小・一人3枚 ※講師提示用にてんとう虫の大きさを完成させてポケットなどに隠しておく ※大小シール配布用にそれぞれ一人ずつ皿に入れて準備しておく
			★回収用カゴ等

<ul style="list-style-type: none"> • 完成したてんとう虫を使って遊ぶ。 ①てのひらに隠す（大きい方は隠れないことで大きさを実感） ②お散歩する ③背中を滑ってすべり台遊び 等 • 賞賛。「みんなのお家に連れて帰ろうね。ここでおやすみなさい」とカゴへ回収 	保育士の役割
	<ul style="list-style-type: none"> • 教材配布 • てんとう虫回収

数子ヤレ	<small>ねらい</small>		教材
設問			
活動内容	5月よりスタート		保育士の役割